

第7回全員協議会会議記録

開 閉 会 日 時	令和3年11月24日（水曜）		午前10時00分 開会
	休 憩		
会議場所			
出席議員 氏 名	議 長 早 苗 豊	議 員 中村 和宏	議 員 中田智恵子
	副議長 常通 直人	議 員 立川 美穂	議 員 黒田 栄継
	議 員 広瀬 重雄	議 員 梶澤 幸治	
	議 員 正村紀美子	議 員 渡辺洋一郎	
	議 員 寺町 平一	議 員 堀 切 忠	
	議 員 鈴木 健充	議 員 橋本 和仁	
欠席議員 氏 名	議 員 柴田 正博		
	議 員 西尾 一則		
説明等に 出席した 者の氏名			
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係長 佐藤 史彦	同主査 上田 瑞紀
『会議に付した事件と会議結果など』			
1 開 会			
議長が開会を告げ、柴田議員及び西尾議員の欠席を報告した後、事務局から日程を説明する。			
2 議 件			
(1) 協議事項			
ア 議会費補正予算案について		資料1	
イ 議会活動の評価について		当日資料2	
ウ 令和3年度議会報告と町民との意見交換について		当日資料3	
3 その他			
<hr/>			
2 議 件			
(1) 協議事項			
ア 議会費補正予算案について		資料1	
<ul style="list-style-type: none"> ・総務係長：資料説明 ・議長：意見・質疑はないか。 ・（意見・質疑なし） ・議 長：説明内容のとおり決定する。 			
イ 議会活動の評価について		当日資料2・参考	
<ul style="list-style-type: none"> ・総務係長：資料説明（外部評価に係る経過と現状の説明） 			

- ・議長：意見・質疑はないか。
- ・立川議員：来年1～2月の中間報告について、全議員参加に配慮いただきたい。
- ・議長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議長：説明内容のとおり中間報告として、全議員の共通認識とすることを決定する。

ウ 令和3年度議会報告と町民との意見交換について 当日資料3

- ・事務局長：資料説明＜第5回全員協議会（9月16日）における決定以降の変更点について説明）
- ・議長：意見・質疑はないか。
- ・梶澤議員：各日程の調整に際し、参加者等の制限人数等は？
- ・渡辺議員：南小・上美小中は、感染症対策を講じた前提で、可能な範囲で最少人数という認識で情報共有した。
- ・鈴木委員：西小・西中も同じ。あらかじめ、学校では当該事業の予定を組んでいただいております、感染症が再度拡大しない時期に実施したいとのこと。広い会場で厳選した人数で実施を予定している。
- ・中村議員：芽小・芽中も同じ。1時間程度の時間制限要望もある。
- ・梶澤議員：「町民との意見交換」にあつては、過去は、できるだけ多くの人数参加を趣旨とし、ワークショップも実施していたが、今回はこれまでの基本姿勢（手法）を見直すという考えか？
- ・中村議員：先方と具体詳細が完了していない状況であり、今後、速やかに調整する。
- ・梶澤議員：参加人数は限定するものの、可能な範囲で数多くの意見を募るといった基本的な考え方を確認したい。
- ・中村議員：基本的な考え方に変更はない。
- ・梶澤議員：グループ別意見交換後のグループ発表は企画しているか？短時間でも良いのでスケジュールすべきと考えるがいかがか？
- ・中村議員：計画している。
- ・広瀬議員：少人数の具体的な定義は何人か？PTA 三役か？それとも、部会長も含めてか？町民との意見交換会の趣旨は、地域の皆さんの意見を広く聴くこと。コロナ対策は念頭に置きつつ、3班共通の目安設定は必要でないか。
- ・議長：議運として、検討・整理し、先方と協議を詰めていただきたいが、いかがか？
- ・中村議員：ご意見を含めて、早急に調整する。
- ・梶澤議員：資料についても、事前配布が原則と捉えて良いか？
- ・中村議員：調整中であり、現時点では未配布である。
- ・梶澤議員：今回の意見交換会に設定した議会報告（「議員の定数と報酬のあり方について」）と意見交換会テーマ（両常任委員会抽出事項）は、町民の皆さんにとって、重要かつ関心が高いものである。参加者のみならず、参加できない多くの保護

者からの広く意見を募れるように工夫していただきたい。

- ・広瀬議員：PTA 役員会すら実施できていない状況下ではあるが、今回の意見交換テーマに対しては関心が高いことが想定される。ゆえに、参加者のみではなく、保護者に広く情報を周知して、そのことを踏まえて実際に参加した役員が意見を持ち寄り、議会との意見交換に展開できるよう、手法に検討、工夫を期待したい。
- ・中村議員：今年は昨年同様にコロナの影響を受けて、事業自体の実施協議にも苦慮して今日に至る。そのため、各学校の意向や要望を尊重した上で、実施の可否及び日程の確定に至った経過ある。本来、この事業が目指す本旨は十分に理解しつつも、学校現場に過剰な負担をかけない方法という観点もあり、広く意見を募る方法が可能なのか、それとも、凝縮した形で参加者の皆さんとの意見交換での声を反映することに努めるか、議運の中で検討していきたい。
- ・広瀬議員：可能な範囲で構わない。対応できる範囲で配慮をお願いしたい。校長・教頭も異動で変わる。そのことにより、学校の風土が変わることもある。議会として、この機能（町民との意見交換会）を介して、町民の意見を政策に反映する姿勢を、継続的に意思表示していくことが、この事業のひとつの重要な目的として風化させない思いを共通認識としたい。
- ・議長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議長：説明内容のとおり決定する。

3 その他

- ・立川議員：去る11月19日にオンラインで「地方議会活性化シンポジウム2021」を受講しての感想である。一点目は、議員研修会の基本スタンスについてである。これまでの本町議会の姿勢として、主催する研修は、町民及び他自治体議会への案内をベースにしてきた。このことを改めて基本スタンスとしたい。第16回議運（10月26日）の議事録には、他の自治体議会参加に際しては、予算分担の必要性が指摘されていたが、これまでも実践してきた姿勢を継続していきたい。二点目は、決算資料の町への要求についてである。これも、同じ会議の議事録では、個々の議員が対応すべきのようにまとめているが、すべての事務事業マネジメントシート提供を改めて求めたい。議会の評価能力の向上を目的として、町側の（事務事業マネジメントシート作成の）スケジュール見直しを要請するなど、重要資料として、ぜひ要求したい。
- ・梶澤議員：決算に万全を期すのは大前提である。また、（地方議会）シンポジウムでは、執行者側への資料要求については、議会の積極姿勢が求められる旨の示唆もあった。立川議員の発言の趣旨には同感である。
- ・広瀬議員：理事者側と議運が協議し、その可否及び可否を改めて再考してはいかがか？
- ・議長：決算資料の法的根拠及び理事者側の事務スケジュール等、ただ今ご意見のあったことについて、可否と可否を議運で協議していただきたい。いかがか？
- ・（意見・質疑なし）

- ・中村議員：ご意見を踏まえて、改めて議運で議論したい。
- ・議長：議運一任とすることで決定する。他に「その他」で意見はないか？
- ・(意見・質疑なし)

以上で会議を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----

記載のとおり報告する。

令和3年11月24日

芽室町議会議長 早 苗 豊